

# サツマイモの上手な育て方講座

## ① 土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石灰 100g
- ・草木灰（そうもくばい）100g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておくとい
- ※カリウムを多く含む肥料で
- ・牛糞堆肥 3リットル
- ・肥料 20g
- イモを大きくします。

※窒素成分が多いと、ツルと葉だけが生長する「つるボケ」になるので、肥料は少な目に！

## ② 植え付け

- ・新潟での植え付けは5～6月頃が適期です。
- ・畝の高さは30cmの高畝にします。
- ・黒マルチを施すことをおすすめします。生長し始める時期は梅雨と重なるので、放っておくと雑草に負けてしまいます。
- ・株間は30cm程度あけます。
- ・つる苗（つるを切り取った苗）を植え付けます。
- ・植え穴は、支柱を斜めに土に挿して作ると植えやすいです。
- ・サツマイモは節から出る根が肥大したものなので、苗の3～4節のところまで、土に埋めます。
- ・植え付け直後は倒れたままですが、根を張ると元気になります。

## ③ 追肥

- ・生育が順調なら追肥は不要です。もし葉色が薄い、葉色が黄色っぽい場合は、株元に一つまみ程度の追肥を行います。

## ④ 収穫

- ・新潟では10月下旬～11月上旬が収穫期です。
- ・伸びたつるを刈り取ってから、株周りの土を掘り起こします。刈り取ったツルの根元を引き上げて、イモを傷つけないように抜きます。

## 【留意点】

- ・収穫時にイモを土の中に忘れていないか、土を手で掘り起こしてみるのも「ザ・いもほり」的な感じがして、おもしろいですよ♪
- ・掘りあげたイモは泥を落とした後、3～4日程、日に当てると甘みが増しておいしくなりますよ。